

高浜町 議会だより



青郷小学校入学式直後の新１年生たち

contents

- | | | | |
|----------------|-------|--------------------|--------|
| ◇トピックス…………… | P2～4 | ◇委員会報告…………… | P13～18 |
| ◇採決一覧表・質疑討論 …… | P5～7 | ◇若狭広域・陳情報告…………… | P19 |
| ◇一般質問…………… | P8～12 | ◇議員と語ろう会／編集後記…………… | P20 |

第134号

17件の新規事業実施へ

TOPICS

平成30年度当初予算
総額102億1968万円の一一般会計



- ①第三セクター長期貸付事業…**5,480万円**(一般財源)
いきいきタウン高浜が大規模企業園芸に代わって負担した初期投資費用の未回収分を長期に貸し付ける。
- ②データ放送システム・ホームページ更新事業委託料…**3,110万円**
(一般財源 1,610万円、嶺南活性化事業補助金 1,500万円)
情報提供サービスの向上を図る。
- ③旧日引小学校厨房改修工事…**479万円**(電源交付金)
ふれあい広場として活用されている旧日引小学校の給食室を改修し、料理教室等に活用する。
- ④「高浜町史 古写真・絵図編」の発刊…**388万円**(一般財源)
高浜町の豊かな生活文化を次世代へ引き継ぐため、新たな町史を編さんする。
- ⑤移住促進ラジオ発信事業委託…**777万円**(一般財源 177万円、嶺南活性化事業補助金 600万円)
高浜町の暮らしの魅力を、関西圏で人気のあるラジオ番組でPRする。
- ⑥地方創生ふるさと産品発信業務委託…**350万円**(一般財源)
ふるさと産品の追加やPRカタログの制作、開拓を実施する。
- ⑦社会福祉施設基本構想策定業務委託…**748万円**(一般財源 198万円、電源交付金 550万円)
高浜地区に福祉の拠点を整備するため、社会福祉施設の基本構想の策定を行う。
- ⑧社会福祉センター改修工事…**2億9,916万円**
(一般財源 8万円、社会福祉協議会財源 2億9,908万円)
老朽化した社会福祉センターの全面改修を行う。
- ⑨民間認定こども園整備事業補助金…**1億4,717万円 (P4参照)**
(一般財源 4,905万円、子どものための教育・保育給付費 9,812万円)
民間事業者による認定こども園整備事業への補助を行う。
- ⑩高浜保育所移転整備基本設計業務委託…**2,112万円**
(一般財源 362万円、電源交付金 1,750万円)
子どもたちへ、良質な教育・保育を提供するための移転整備への基本設計を行う。
- ⑪高浜町地域農業担い手支援事業補助金…**800万円**(一般財源)
地域農業担い手への機械購入費の補助を行う。
- ⑫佐伎治踏切、第2立石踏切への改修にむけた概略設計業務…**1,286万円**
(一般財源 286万円、電源交付金 1,000万円)
踏切道促進法に基づく改良計画を行う。
- ⑬防火水槽整備事業…**3,887万円**(緊急防災・減災事業債)
赤尾町、塩土防火水槽の改修を行う。
- ⑭原子力災害時避難円滑化道路改良事業…**1,003万円**(一般財源 15万円、県費988万円)
町道小泊線道路の拡幅を行なうための測量調査設計委託を行う。
- ⑮学校施設等保全計画策定業務…**539万円**(一般財源 109万円、電源交付金 430万円)
各施設の機能・性能を確保するために、個別計画を策定する。
- ⑯青郷公民館外壁修繕工事…**844万円**(一般財源 144万円、電源交付金 700万円)
竣工から15年経過し、外壁の経年劣化対策工事を行う。
- ⑰中央球場防球ネット設置工事…**831万円**(一般財源 231万円、電源交付金 600万円)
硬式野球ボールが柵を超えるため、利用者の安全確保のため防球ネットを設置する。

(井上順也)



6次産業地域商社構築へ

漁協や関係者の間で、意見集約の目途も立ち、いよいよ塩土側への移転計画が始まる。

漁港でのセリの見学や、獲れたての魚を消費者の前で調理し提供することにより、魚の付加価値を高めていくことで、漁業の収益環境の改善、ひいては低迷する水産業の起爆剤となり得ると感じている。(町長施政方針より)

6次産業施設実施設計業務委託料4,000万円により実施設計が行われる。また6次産業地域商社構築補助金700万円が計上され、6次化施設の運営を担う法人の構築がなされていく。

(磯部武史)



老朽化が進む高浜漁港本所と荷捌き場

TOPICS

高浜漁港再整備
6次化施設実施設計予算計上

建設用地選定に向けた環境アセスメント調査から

TOPICS

【広域による連携の必要性】

若狭地域の各自治体においては、人口減少と少子高齢化が進む中、限られた資産を有効に活用し、効率的できめ細やかな行政サービスを実現するため、近隣市町が連携して行政課題に取り組む広域連携の手法を用いることの合意がなされ、若狭広域行政事務組合(高浜町、おおい町、小浜市、若狭町)が設立された。

【ごみ焼却施設を広域で持つことになった経緯】

若狭広域行政事務組合では、組合の最初の課題として挙げられた、各市町のゴミ焼却施設の老朽化について検討を行い、ごみ焼却施設の一歩化を決定した。

【高浜町が候補地となった理由】

4市町での協議中、第1候補として検討してきた若狭町町内での立地選定が難しくなり、結果的に第2案として高浜町清掃センターを建替える案が浮上した。そのため、建設計画を進める前段階として、和田地区委員会から環境アセスメント調査の了承をえた。

【環境アセスメント調査の概要】

建設候補地周辺の環境を評価し、建設後における環境の変化を予測することにより、環境保全対策等を検討することを目的に調査を行う。

調査項目は、大気・騒音・振動・低周波・水質・悪臭・土壌・自然景観等について、1年間を通じて実施する予定である。

(西野朋宏)



環境エネルギーセンター(近江八幡市)

若狭広域行政事務組合
広域ごみ焼却施設用地選定の経緯

同時に高浜保育所も基本設計段階へ

高浜町立石に初めて民間認定こども園が誕生する。木造2階建ての施設で保育所定員は60名、幼稚園定員は15名となっており、実施事業としては0歳児保育、延長保育、障害者保育、一時預かり、子育て支援拠点事業を展開する予定だ。

総事業費は約1億4,700万円(国1/2、県1/4、町1/4)平成31年開設予定。また、高浜保育所移転整備に向け、基本設計に約2,100万円計上。未来を担う高浜町の子供たちへ良質な教育・保育が提供されるよう、議会もしっかり注視していく必要がある。

(児玉千明)

※認定こども園とは…教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持った施設。

ニーズに応じて選択が可能で、都道府県等から認定を受けることができる。



民間認定こども園完成予想図

高浜町に民間認定
こども園誕生！



「高浜町空き家等対策の推進に関する条例」4月1日から施行

この条例では、町、所有者、町民、行政区、まちづくり団体、事業者等それぞれ主体の責務や役割や、空き家等の発生予防、利活用、適正な管理、跡地活用等の空き家対策推進に必要な項目が定められ、管理が行き届いていない空き家等へ安全代行措置など、町独自の対応が出来ることは大いに期待できる。

不安に感じていた地域の課題解決、資源の保全や観光振興等から見て、空き家を有効活用することで、地域がより元気になることを目標に、各主体が連携・協働することがさらに必要になる。



空き家調査の結果、現在、町内には334戸の空き家があり、管理状態の「悪い(住めない)」、「非常に悪い(除去等)」の老朽危険空き家対策が必要な空き家が60戸。その中でも「さらに悪い」2戸は早急な対策が求められる。

(大塚ひとみ)



町内の老朽危険空き家

老朽・危険空き家対策ができ、
安心して住める町に



3月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第3号	平成29年度高浜町一般会計補正予算(第6号)	予算決算	全員賛成で可決	P3・14
議案第4号	平成29年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第5号	平成29年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第6号	平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第7号	平成29年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第8号	平成29年度高浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第9号	平成29年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	賛成多数で可決	P6
議案第10号	平成29年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	総務産業	賛成多数で可決	P13
議案第11号	平成29年度高浜町宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)	総務産業	全員賛成で可決	P13
議案第12号	平成29年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	全員賛成で可決	P13
議案第13号	平成30年度高浜町一般会計予算	予算決算	賛成多数で可決	P2・3・4・6・10・14
議案第14号	平成30年度高浜町国民健康保険特別会計予算	厚生文教	賛成多数で可決	P7・16
議案第15号	平成30年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第16号	平成30年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算	厚生文教	賛成多数で可決	P7・16
議案第17号	平成30年度高浜町介護保険特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第18号	平成30年度高浜町簡易水道事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第19号	平成30年度高浜町公共下水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P7・12
議案第20号	平成30年度高浜町集落排水事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	—
議案第21号	平成30年度高浜町宅地分譲事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第22号	平成30年度高浜町水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P7
議案第23号	高浜町空き家等対策の推進に関する条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P4・12
議案第24号	高浜町個人情報保護条例及び高浜町情報公開条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第25号	高浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第26号	高浜町農業及び漁業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第27号	高浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第28号	高浜町介護保険条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P16
議案第29号	高浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P7・16

次ページへ続く

前ページの続き

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第30号	高浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに高浜町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P7
議案第31号	高浜町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P7・16
議案第32号	高浜町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第33号	高浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P7
議案第34号	高浜町国民健康保険基金条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P7
議案第35号	高浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P7
議案第36号	高浜町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第37号	福井県市町総合事務組合規約の変更及び財産処分	総務産業	全員賛成で可決	P12
議案第38号	高浜町社会福祉センター及び高浜町高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第39号	高浜町老人憩いの家の指定管理者の指定	厚生文教	全員賛成で可決	—
議案第40号	若狭地区障害者介護給付費等支給審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び同審査会共同設置規約の変更	厚生文教	全員賛成で可決	—
陳情第1号	政府への「米の生産費を償う価格下支え制度」の創設を求める陳情	総務産業	賛成少数で不採択	P7・13
陳情第2号	政府への「種子法廃止に伴う万全の対策」を求める陳情	総務産業	賛成少数で不採択	P7・13

本会議での質疑・討論

質疑

議案第13号

大塚ひとみ議員

歳入寄付金について、平成29年度より1000万円の減額理由は。

総務課長

実績を参考に現実的金額を計上、増額見込あれば補正で増額計上あり。

山本富夫議員

昨年までの人材育成補助金終了、中小企業振興融資制度の補助縮小は人口減少対策観点からは理解できない。

町長

原子力発電所の再稼働までの政策であった。人材育成補助金制度は、新たな施策で再度検討する。

井上順也議員

民生費の介護用品支給事業において、種類を増やすとのことであるがどのようにになるのか。

保険福祉課長

従来の紙おむつ、防水シートに加えて、使い捨ての手袋、おしりふきを追加する。

討論

議案第9号

反対討論 釣本音次議員

元来、雨水対策施設の代替案を提示し反対してきた。汐入2号雨水調整池整備工事には、余分な雨水をも取り込む構造になっている。

討論

議案第13号

反対討論 渡邊 孝議員

危険な原発に依存した財政である。その他の理由で反対する。

賛成討論 井上順也議員

高浜町の漁業・水産業の再生に向けた経営改善を、着実に推進することを強く要望し、賛成とする。

賛成討論 釣本音次議員

全体では賛成するが漁業の6次化事業は立地場所に問題があり反対。有線テレビ民間化は、主旨に異論はないがコストに検討の余地がある。

賛成討論 山本富夫議員

原子力歳入財源は健全であり高浜町のあらゆる政策の最重要財源。人権政策は国の法制定による

改善も必要。

討論

議案第14号

反対討論

渡邊 孝議員

4月から国民健康保険の保険者が都道府県に変わる。被保険者の負担増が予想される。

討論

議案第16号

反対討論

渡邊 孝議員

被保険者である75歳以上の高齢者の保険料値上げに反対。

討論

議案第19号

反対討論

釣本音次議員

道路面に雨水があふれ冠水するから被害がでる。この被害を防ぐために冠水する雨水のみ貯水槽に貯めるべき。

賛成討論

上尾徳郎議員

汐入監視所水位計のゲートへの取り入れ開始位置は水平断面図の位置確認により適切である。

賛成討論

山本富夫議員

雨水調整池の町設定ゲート開の高さは最善の位置である。郷土資料館の浸水が予測される設定値議論は終息すべき。

討論

議案第22号

反対討論

渡邊 孝議員

「加入金」は営業利益であり、「収益的収入」に入れるべきである。

討論

議案第29号

反対討論

渡邊 孝議員

介護保険の「共生型サービス」は、安上がりなサービスにならない。

賛成討論

小幡憲仁議員

共生型サービス事業の展開に伴い障害者が高齢者となった場合でもこれまで利用してきた馴染みの施設を利用できるようにする。

討論

議案第30号

反対討論

渡邊 孝議員

「介護医療院」創設は、療養病床削減の受け皿であり、サービス削減となる。

賛成討論

小幡憲仁議員

議案第29号に同理由で賛成

討論

議案第31号

反対討論

渡邊 孝議員

議案第29号に同理由で反対

賛成討論

小幡憲仁議員

議案第29号に同理由で賛成

討論

議案第33号

反対討論

渡邊 孝議員

国民健康保険の都道府県化に伴う条文「改正」であり反対する。

賛成討論

小幡憲仁議員

人口減少や高齢化に伴う地方の衰退の現実があり、国保運営の安定化のために都道府県へ広域化することに合理的な理由がある。

討論

議案第34号

反対討論

渡邊 孝議員

議案第33号と同理由で反対

賛成討論

小幡憲仁議員

議案第33号と同理由で賛成

討論

議案第35号

反対討論

渡邊 孝議員

議案第33号と同理由で反対

賛成討論

小幡憲仁議員

国保税の課税で、資産割と平等割の値下げ分を均等割の値上げで賄っている。多子世帯に厳しい改正内容であり反対する。

賛成討論

井上順也議員

広域化によるスケールメリットを活かし、県が市町とともに安定的な財政運営や効率的な事業運営を進めるものである。

討論

陳情第1号

反対討論

井ノ本康夫議員

意欲のある農業者や新たな後継者にとってはマイナス効果となる。国の施策で農地集約や強い農業を進める制度から逆行していると考え反対する。

賛成討論

渡邊 孝議員

稲作農家の経営を守るため国に意見書を提出すべきである。

討論

陳情第2号

反対討論

横田則孝議員

民間による優良な種子の開発が必要であり、優良な種子の供給を促進することが出来る。

賛成討論

渡邊 孝議員

「種子法廃止に伴う万全の対策」を求めるものであり、賛成する。



Q 赤ふんバスに周遊路線追加と定期乗車証を

A 最新のニーズに応じ柔軟に見直していきたい

磯部 武史 議員



京都市の敬老乗車証

Q 周遊路線の費用対効果を検証するとともに、その

A 運行経費とどの程度利用者があるのか検証する必要がある。

Q 他市町では遠地路線と周遊路線を合わせた運行を行っている。中心市街地周遊路線を導入できないか。

A 24年度は1万600人で以降順調に利用者数を伸ばし、休日運行も開始したため29年度は約2万人になる。病院、スーパー、駅、公共施設、喫茶店等が上位となっている。

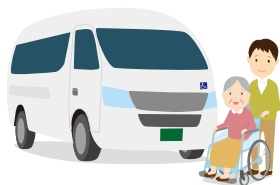
Q 利用者数の推移や動向はどうか。

第一ステップとして提案がある。

京都市では70歳以上の希望者に敬老乗車証(収入に応じ金額設定)を発行し、市バスと地下鉄の利用ができる。

赤ふんバスにもシンプルかつ公平な定期乗車証の発行ができないか。

A 料金設定について、議員提案の定期乗車証の導入も前向きに検討していく。



Q 若狭広域行政事務組合におけるゴミ焼却施設の計画について

A 広域化運営を進めていく

横田 則孝 議員



Q 新聞に高浜町和田地区において、広域で大規模なゴミ焼却施設の建設予定との見出しで掲載があったが、取り組みについて問う。

A 第一の候補として検討していた若狭町内での立地選定が難しくなり、結果的に第二案として高浜町清掃センターを建て替える案が浮上した。和田地区の住民の方を対象にした説明会を実施し、和田地区委員会よりアセスメントの受け入れの了解を頂いた。建設についての基本同意を頂けるよう努力していく。



ゴミ焼却場



日置交差点

Q 国道27号線沿い日置交差点改良拡幅及び歩道整備工事並びに青郷地区の浸水対策計画について問う。

A 朝夕の通勤時に慢性的に通行が停滞する日置交差点については、暫定交差点からの交差改良を計画中である。歩道拡幅、交差点における付加車線の増設には地域住民・関係地権者のご理解、ご協力が必要である。国土交通省と連携し、慎重に進める。

浸水対策については、水路系統を二系統に分散させる新規の水路を設置し、関屋川へと排除する計画であるため、区民のご理解やご協力が必要である。

Q 今後の「医療政策」と「健康まちづくり」について

A 社会背景に併せた施策で更なる充実を図る

井ノ元 康夫 議員



Q 内浦診療所では和田診療所から週1回の診療をし

A 寄付講座の開始以降、医師不足など医療問題の施策を推進してきた。健康面での取り組みを強化すべく、派遣医師1名を増員する。

Q 福井大学との「寄附講座」は全国的にも注目されている。新年度より4期目のスタートとなるが、新たな取り組みを伺う。



内浦診療所



寄付講座で取り組まなければならぬ計画である。住み慣れた地域で健康に過ごし続ける事の出来る理想的な社会環境構築には必要である。

A 地域のつながりの強化でもあり、地元の施設で食事を作り、配達してはどうか。

Q 一人暮らしの高齢者は安定した食事に苦労されていると考える。

A 公民館のスペース等の問題を検討して行く。

て頂いているが、立地条件の良い内浦公民館での診察は出来ないか。

Q 「高浜町人材育成事業補助金交付制度」を維持できないか

A 新たな事業として制度設計を検討する。

井上 順也 議員



A 平成30年度に福井大学と人口移動要因の分析を行い政策に反映する。また、現在の総合戦略ならびに付随している各種数値目標のミスマッチをチェックし見直しを行う。

Q 重点プロジェクトの平成31年度目標実現について、どのように進めて行くのか。

◆地方創生総合戦略プロジェクトの進捗について



小型クレーン講習

Q 発電所の再稼働により本制度が打ち切られる。移住定住の促進にもつながる、本制度の維持、発展的見直しができないか。

A 今後、人材育成のターゲットを特定し、新たな事業として制度設計を検討する。

◆隣の空き家、空地取得の促進について

Q 空き家、空地の状況がよくわかる、お隣さんの取得に対して補助ができないか。

A 他の住宅補助制度等の政策を総合的に検証し、制度設計をしていく。

◆町内長期居住者の住民登録の勧めについて

Q 勤務等で長期に渡り町内に居住されている方の、住民登録を勧めていけないか。

A 効果的な周知方法を検討していく。



出典：総務省チラシ

Q 冠水対策について問う

A 必要なら対策を検討する

渡邊 孝 議員



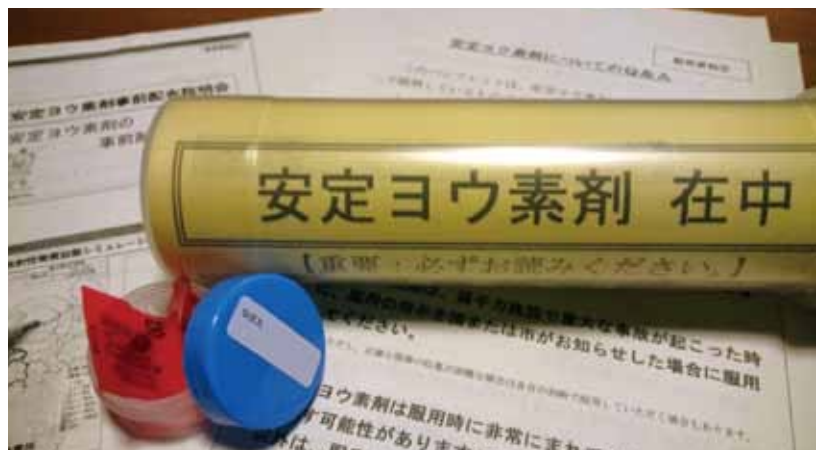
Q 昨年10月の台風21号は町内にも被害をもたらせた。特に、中央区では床上浸水した。この地域の冠水対策をどうするか。

A 気象状況の変化、田畑の開発状況を注視し、必要なら対策を検討する。

◆全町にヨウ素剤の事前配布を

Q 放射能被曝予防として安定ヨウ素剤が事前配布されているが、和田地区等にも事前配布すべきではないか。

A 国も了解し、福井県の了解待ちである。今後とも県と協議を続ける。



安定ヨウ素剤

◆自衛隊配備は撤回を

Q 福井県と、嶺南6市町は若狭地域に自衛隊配備を国に要望しているが、やめるべきである。

A 諸事情により、現時点では自衛隊配備は現実的ではないと考えている。

Q 高浜保育所建設用地は

A 菌部地係りで検討中

上尾 徳郎 議員



Q 基本設計の内容と移転整備検討委員会などの協議体制と取り組みは。設計業者の選定方法は。

A 基本設計では、幼保連携型認定子ども園の基準などに沿った必要なクラス数や面積、園庭や駐車場の検討をして、概算工事費の算定や全体工程計画の策定を行う。

検討委員会は、保護者代表や児童福祉関係者、保育所職員代表の他、有識者で構成し、教育・保育の環境構築に設計業務実施と一体的に進める。設計業者は、保育所設計の実績のある業者による一般競争入札で行う。

◆高浜漁港再整備事業

Q 漁業関係者や地元の同意の確認は。

A 漁協組合、高浜地区総代会の合意を頂いた。

Q 事業申請の状況は。

A 漁業者利用の共同施設は、水産庁所管の補助事業。

6次産業施設は、農山漁村交付金事業を活用し、国では、一体整備が必要と判断し事業内容、整備方針を認めている。

今後は隣接の地域住民に對し、漁業関係者とともに事業説明に伺う。



6次産業施設建設予定地

Q 高浜町における要望書等の取扱いについて

A 概ね回答しているが公開していない

児玉 千明 議員



Q 寄せられた陳情書等は、要望を出してからその後どうなったか、また現状を把握できる仕組み等あるのか。

A AとDとランク分けされ回答できるものは、おおむね1〜2か月で回答している。

現状が把握できる仕組みはなく、問い合わせなければ確認する方法はない。

Q 要望書等を提出するのは容易ではない。そこで状況一覧書など、公表したり、アプリを使いオープンデータ化はできないか。

A オープンデータ化は検討しているが、個人情報などの扱いを考慮する必要がある。

その他、町境のPR看板について・野良猫対策について質問。

Q 臨時職員の待遇改善に向けた取り組みは

A 会計年度任用職員制度により改善したい

小幡 憲仁 議員



Q 地方公務員法が改正され、あいまいであつた臨時職員の任用根拠、賃金、手当が会計年度任用職員制度が新設されて明確化される。制度改正を契機に臨時職員の待遇改善に取り組みべき。

A 大幅な制度改正となる。現在、国のマニュアルを参考に準備している。法改正の趣旨に鑑み職員の待遇改善を図る。

◆現行制度で出来る臨時職員の処遇改善について

Q 総務省通知では、①通勤費や時間外手当②不適切な「空白期間」の是正③各種休暇制度整備などを求めている。

A 高浜町では要綱に基づき運用している。不適切な空白期間はない。臨時職員は事務補助等であり超過勤務

等は原則無いが、あれば規定額を支出。

◆正規職員の超過勤務の管理について

Q 正規職員の超過勤務について適正な手当が支給されているか。サービス残業・休日出勤等の実態はないか。

A 人員不足には臨時職員で補助している。勤務時間と超過勤務手当の支給に差異がないよう指導している。



高浜町役場

Q 鳥獣被害対策の新たな取り組みについて

A “実施隊の再編成”を検討する

西野 朋宏 議員



Q 従来からの捕獲報奨金制度を利用した捕獲の推進や防獣柵の補助金事業だけでなく、新たな取り組みが必要ではないか。

A 平成30年度以降の新たな取り組みとしては、町民の皆さんが主体となった「実施

Q 鳥獣被害が顕在化している昨今だが、高浜町においてもその対策に変化をつける時期がきているのではないか。

A 高浜町の鳥獣被害対策の基本方針は、「防獣・追い払い・捕獲」の3本柱を軸に対策を進めている。本年度には、新たな取り組みの一つとして全集落対象の「集落点検」を実施しました。この点検を集落住民と一緒に行うことで獣を寄せ付けない集落づくりを進めていく。



鳥獣被害対策推進協議会



隊の再編成」を検討している。

従来の捕獲のみに従事する実施隊の活動から、防護柵の設置管理指導を行う「被害防衛支援班」獣誘引物の撤去や見回りを行う「生息地管理班」集落に餌付いた獣を捕獲する「加害個体の捕獲班」に活動内容を再編する予定である。

Q 現行の運用では、汐入雨水施設が有効に使用されていないのでは

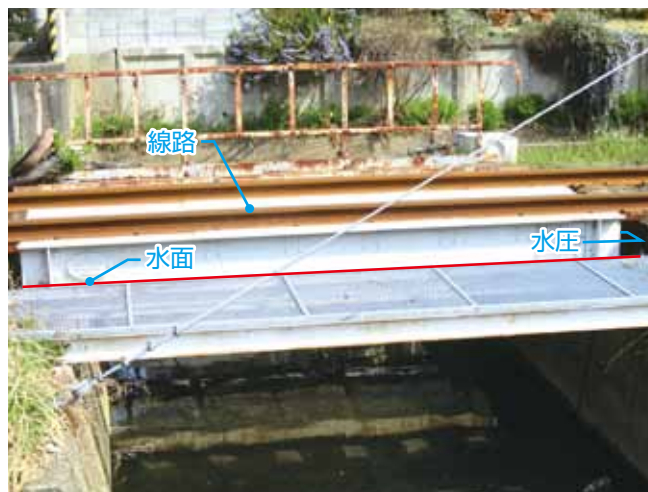
A 妥当であると考え

釣本 音次 議員



Q 道路面に雨水があふれ冠水するから被害がでる。被害を防ぐには汐入1号雨水施設の稼働水位を道路面に設定し冠水する雨水だけを貯水槽に貯めればよい。現行は、15センチ低い稼働水位で冠水しない雨水を貯水槽に溜めている。降雨量が一定で汐入川の処理能力内ならば水面は、一定となり冠水することなく貯水槽が満杯になり肝心な時には使えない。15・1億円施設が有効に使われない。現行の低い稼働水位では、弊害がでるが稼働水位を道路面にすると線路が水没してしまいうので現行の稼働水位が適切との回答だっ

Q 道路面に雨水があふれ冠水するから被害がでる。被害を防ぐには汐入1号雨水施設の稼働水位を道路面に設定し冠水する雨水だけを貯水槽に貯めればよい。現行は、15センチ低い稼働水位で冠水しない雨水を貯水槽に溜めている。降雨量が一定で汐入川の処理能力内ならば水面は、一定となり冠水することなく貯水槽が満杯になり肝心な時には使えない。15・1億円施設が有効に使われない。現行の低い稼働水位では、弊害がでるが稼働水位を道路面にすると線路が水没してしまいうので現行の稼働水位が適切との回答だっ



汐入川雨水施設の稼働水位を道路面にした場合

A 議長、委員長を通して欲しい。

Q データを検証したいので出してほしい。

A 議長、委員長を通して欲しい。

Q だが、実測すると水没せず線路下25センチが水面であるが答弁を求む。

A (線路が水没してしまいう事は一切なく新たに) 桁横からの水圧により安全性が確保出来ない。

三松下水処理場が 公共下水に切換え

総務産業

常任委員会報告

委員長 山本 富夫

たが、種子法の廃止によっての問題はほとんどない。逆に民間との共同的な形でやることによってメリットがある。新米がどんどん開発されている状況で、各県の試験場などで試験栽培がなされている中、民間も努力をしていくことによって、農業に関するたくましさも出ると思われる意見多数。

●議案第10号

三松処理施設の公共下水道接続については、平成24年から工事に着手平成30年5月1日に公共下水道に切りかえる。残された建物の利用方法には、三松地区からは1日当たり400トンほど入ってくるのでトラブルが発生した場合、三松処理場の機能は残しておき、そこで貯留できる機能だけを確保したいとの回答。

●議案第11号

平成16年から24年までに32区画の売却、25年から29年まで9区画の売却済みで補正で一区画の予約分を計上。

●議案第12号

県道改良工事に伴う配水管移設未施工の減額場所はどこかの質疑に、難波江区の県道との回答。

●議案第19号

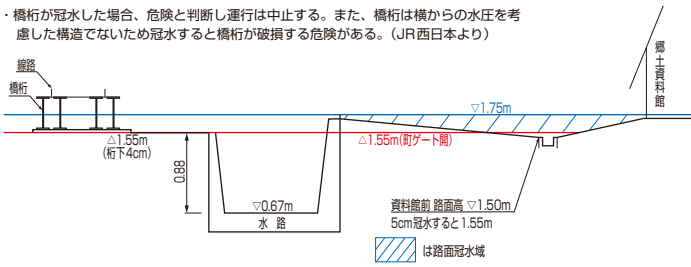
一般質問でかみ合わなかった雨水調整池、汐入川監視所(郷土資料館前)に設置された水位計の水位信号による排水ポンプの作動は、一番低いJ R 桁下

4 cmで設定している位置の整合性を確認。J R の運転支障が出ない最低ライン位置であるのと同時に資料館への浸水に到らない水位であることを断面図で確認。町民の生命財産を守る観点から設定水位は妥当でありいつまでも理解不能な議論は終息すべきとの意見が多く出された。

◎雨水調整池の目的は浸水及び冠水を軽減するものです。

- 降雨の状況にもよりますが、雨水調整池のゲートが開になっても汐入川の水位が必ずしも下がるものではありません。(設計では一定に保つこととなっております。)
- 町設定のゲート開の高さは1.55mで設定しております。(赤ライン)
- 約本議員提案の高さは1.75m(青ライン)であり、J R 橋桁も冠水し、郷土資料館も浸水する設定となっており、雨水調整池の目的を果たすものではありませんので、町としては 赤のラインで設定しております。

・橋桁が冠水した場合、危険と判断し運行は中止する。また、橋桁は横からの水圧を考慮した構造でないため冠水すると橋桁が破損する危険がある。(J R 西日本より)



郷土資料館説明図

ら高浜地区区長会からも同様の意見。40区画の販売で3分の2が売却となり行政区として方向性を指導していく考えであると示す。

●議案第23号

空き家292戸、不明42戸を空き家と判定し、合計334戸が空き家でありこの内「悪い・住めない」が41戸、「非常に悪い」が19戸、トータル60戸を法的に対応する。

●議案第24号

個人識別符号についての質疑 DNA、顔、虹彩、声紋、歩行の態様、手指の静脈、指紋・掌紋を電子計算機の用に供するために変換した符号と旅券番号、基礎年金番号、運転免許書番号、住民票コード、マイナンバー、各種保険証の番号等が従来の定義に追加されたもの

●議案第25号

高浜町での該当者はいるのか、時間内の運出はどうかに対して条例制定後にあるかどうか把握していない、時間途中での運出は考えていないとの回答。

●議案第26号

三松処理場を公共下水道に切り替えるための条例変更。

●議案第37号

こしの国広域事務組合の脱退によるもの。

平成30年度予算決定 102億1,968万4千円

予算決算

常任委員会報告

委員長 上尾 徳郎

◇3月12日(月)・13日(火)

●議案第3号

■平成29年度一般会計補正予算(第6号)

予算補正額の歳入歳出それぞれ6億8399万円を追加し、歳入歳出それぞれ109億6721万3千円とする。

【総務費】

■地域おこし協力隊の減額は

漁協での関連業務への募集の応募者が無かった為の減額である。

【農林水産業費】

■有害鳥獣捕獲報奨金の3割減は

当初予算での見込頭数から最終3月末での予想頭数を合わせて、概ね3割減とした。

■水産振興事業補助金での水産振興基金の

取り崩しの状況は

現状、枯渇状況に至り自立した事業の展開の時期となり、優先順位をつけて必要な補助金に絞る。

【商工費】

■Wi-Fiスポットの整備状況は

飲食店への導入補助金の申請が無かった。環境整備や運営スタイルへの質問や提言が多くあった。

■青葉山健康長寿の里、里山体験フィールド整備の内容変更は

新しい指定管理者、青葉山麓研究所の意見によりロックガーデンを減らし、又、園路整備の内容も変更。

【教育費】

■放課後児童の指導員、アルバイトの状況は

夏季期間のアルバイトは給食センター職員により対応。指導員の減額は、内浦の開設が半年遅れた事によるものである。

●議案第13号

■平成30年度高浜町一般会計予算

歳入歳出それぞれ102億1968万4千円と定める。

【総務費】

■人口減少対策事業の委託業務は

移住ポータルサイト発信業務はホームページ関連業務。移住定住総合バンク運営業務は窓口や広報活動。移住促進ラジオ発信事業はラジオを通じた継続的なPR。人口推計調査共同研究は大学と共同で行なう高浜町独自の人口推計調査。

■有線放送のケイ・オプティコムへの民営化について

再送信テレビ等視聴料1億7846万円には視聴料、設備の整備費など全て含まれ、4K・8Kの配信にも対応される。

【民生費】

■社会福祉施設基本構想策定業務について

社協の移転や老朽化した瑞祥苑などの社会福祉施設整備の基本構想業務を業者委託し、並行して福祉団体などによる施設建設委員会により、今後の方向性を検討する。

【衛生費】

■地域プライマリ・ケア講座について

福井大学より、若狭高浜病院へ1名増員派遣。研修医受け入れ継続により医師の供給や縁故の繋がりも期待する。地域医療への取り組みも評価されている。



瑞祥苑

■高浜保育所移転整備基本設計業務について

認定子ども園としての施設イメージが概ね固まり、基本計画も含めた基本設計を移転整備検討委員会にて検討する。設計業者は指名委員会に諮り決定する。

【農林水産業費】

担い手育成支援事業について

高浜町では認定農業者が少なく担い手への耕作面積も多い背景をふまえ、担い手の育成や確保の為に3年間の補助事業。

漁協経営基盤強化事業補助金は

経営改善計画の実施が進まず、日本人材機構からの人材派遣を計画し改善を図る。

6次産業施設実施設計地域商社体制構築について

6次産業施設は町が建設。

財源は農山漁村推進交付金と電源立地交付金を充当。設備や備品・運営は、漁協と2次・3次産業を担う一般事業者の共同での運営会社、法人の設立と農林漁業成長産業機構からの出資を受け、指定管理にて管理運営。

【商工費】

青葉山健康長寿の里事業について

指定管理がいっききタウン高浜から青葉山山麓研究所へ移管に伴い、飲食部門は縮小、物販部門は現状のままで品物を精査。

多目的ホールはイベントや体験メニューの場として継続予定。里山体験フイールドとして薬草の見本園を計画。

【土木費】

まちなか交流館運営事業について

指定管理者が決まらず、30年度は町の直轄管理とし管理と一部運営業務も含めてシルバー人材センターにお願いし前向きに検討中。

いっききタウン高浜の移転に伴い、移住定住総合バンク業務は2軒西隣の上田邸にて30年度も窓口業務も含め継続。



まちなか交流館(旧塩屋)

佐伎治踏切・第2立石踏切概略設計業務について

踏切道路改良促進法に基づく実施設計踏切道の指定を受け、佐伎治踏切と湯谷区から下った第2立石踏切の踏切

道路改良計画の必要な測量・概略設計で平成32年以降の工事着工の計画。



佐伎治踏切



第2立石踏切(湯谷区)

【教育費】

給食センター、空調設備について

県内の大型給食センターには全てエアコンが設置されている。



給食センター

職場環境、衛生面に於いても早急な対応が必要である。設置にあたり高圧受電設備(キュービクル)の増設が必要だが、給食センターの建て替えを34年度の整備を計画しており、キュービクルの移設が可能な構造で計画している。

国体経費の地元負担は

県の補助金は施設整備に係る対象となるものは100%。運営費で対象となるものは3分の2の補助となる。

国保の財政運営主体が 県に移管される

厚生文教

常任委員会報告

委員長 廣瀬 とし子

◇ 3月16日(水)

●議案第4号

■平成29年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

平成28年度療養給付費等負担金の確定により超過交付分の償還金等を増額し、あわせて、後期高齢者支援金、介護納付金等の額の決定による減額を行い、総額として減額補正である。

●議案第5号

■平成29年度高浜町健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

人件費や医薬材料費に不用額が見込

まれるため更正減額である。

●議案第6号

■平成29年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

後期高齢者医療広域連合納付金の額確定により不足分を補正する。

●議案第7号

■平成29年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

介護給付費の減額に伴い、国県補助金や支払基金交付金、一般会計繰入金等の歳入を減額して調整する。

●議案第14号

■平成30年度高浜町国民健康保険特別会計予算

平成30年度から国保の財政運営主体が県に移管される。

●議案第15号

■平成30年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算

診療所の運営に必要な経費を計上。

●議案第16号

■平成30年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算

保険料及び保険基盤安定負担金を、広域連合に納付するための経費を計上。

●議案第17号

■平成30年度高浜町介護保険特別会計予算

本年4月よりスタートする第7期介

護保険事業計画に基づき介護給付費・保険料を査定し、必要な関連予算を計上。

●議案第27号

■高浜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定

居宅介護支援事業者の指定権限が都道府県から市町村に移譲。

●議案第28号

■高浜町介護保険の一部を改正する条例

平成30年度からの第7期介護保険額は、貸付金の返済も終わり月額基準額で300円値下げし、5千800円と設定する。

●議案第29号

■高浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
共生型地域密着は町内で該当はない。

●議案第31号

■高浜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並び支援の方法に関する基準を定める条例

新たなサービスとして共生型や施設サービスに介護医療院が創設される。

◇ 3月20日(火)
◇ 視察先

●新和田公民館

鉄筋コンクリート造2階建てである。I字型、半屋外のテラスが設けられている。館内は明るく1階のホールは広く、木のぬくもりを感じる。1階には8部屋があり、音楽スタジオ、勉強室等がある。2階は大ホールで可動式ステージが設けられている。幅広く利用出来る。



和田公民館の玄関



和田公民館2階大ホール

平成29年度転入・転出結果などについて意見交換を行う

人口減少問題対策調査

特別委員会報告

委員長 井上 順也

◇3月19日(月)

「平成29年度転入・転出結果」、「成人式・小学6年生アンケート結果」、「30年度人口減少対策新規事業」について意見交換を行なった。また、「指定管理者事業」の状況についても意見交換を行なった。

【平成29年度転入・転出結果】

高浜町として、71人の転出超過であった。そのうち、15～29歳までで55人の転出超過となっており、全国的な傾向と同じく、若者が大学、専門学校などで都市部に転出したままで、その

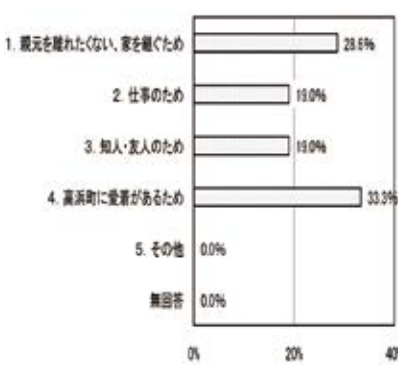
まま就職し、Uターンしない結果が顕著であった。

【成人式アンケート結果】

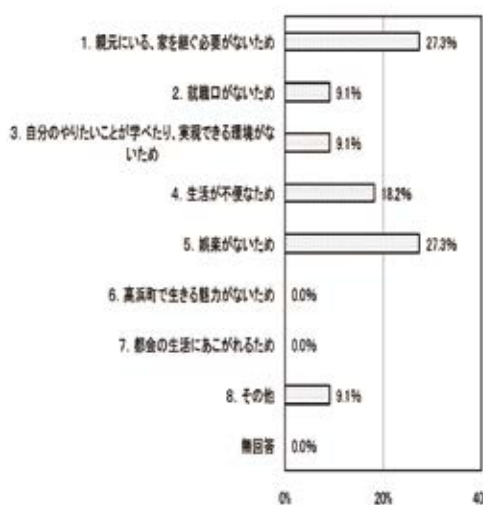
・将来高浜町に住みたい理由は、「高浜町に愛着がある」、「親元を離れたくない、家を継ぐため」と仕事以外の理由が多かった。

・逆に高浜町以外で住みたい理由は、「就職口がない」というのが大きな理由であった。

高浜町に住みたい理由



高浜町に住みたくない理由



【小学6年生アンケート結果】

・将来高浜町に住みたいかについては、昨年同様87%で、主な理由は、「生まれ育った町」や「親が住んでいる」からであった。

【結果からの考察】

U・Iターナー者の増加に向け、町内での仕事内容の情報発信強化、魅力を高めることと、移住・定住が期待できる子育て世代に対する、住居、子育て環境の充実、支援も極めて重要であると考え、更なる取り組みを推進していく。

【主な意見交換】

家を建てて定住する35～39歳層をターゲットとするのはよい。商工会の合コン回数を増やすのに予算をかけては。

婚活イベントの回数を増やすよう働きかける。

住宅の整備、企業が少ない。児童館が月曜日休み。子供たちの遊び場が必要。

小規模な企業誘致を考えている。児童館の開館日は、今後内容を考えていきたい。

広域で仕事と住むところを確保すべき。子供の社会教育、人づくり、街づくりのレベルUPを。人材育成と青年をターゲットにした施策を検討すべき。

街づくりは人づくりからとして進めて行く。

発電所で働く人をターゲットにすべき。金利の補填の支援を。空き家居住はハドルが高い。

発電所関係者に働きかける。金利の支援などの優遇策を検討する。

定置の収入単価を上げることも考えては。創業支援、企業の魅力アップを。

漁法を検討する。経営に女性が参入出来る方法を検討する。

【指定管理者事業について】

まちなか交流館と上田邸、それぞれの役割は。

交流館は交流事業をどのように行うか検討中、上田邸はいきいきタウンに賃貸され移住定住総合情報バンク事業等を行う。

まちなか居住の賑わいとあるが、主となる人、しっかりした体制を立てるべき。

目的に沿った事業をしていく。

ハーパービレッジのカフェは、行うのか。飲食は縮小する。物販、キャンプは継続する。

あまりにも放漫な事業である。

青葉山保全の基本軸は変わらない。薬草の事業化に特化していく。

中央体育館に原子力防災 対策(放射線防護施設)完成

原子力対策

特別委員会報告

委員長 山本 富夫

関西電力(株)高浜発電所宮田所長より新規制基準の適合性検査、各発電所の状況(大飯3、4号機再稼働)についての状況説明があり、4号機は4月10日営業運転に向け順調に運転中である報告があった。

更に、高浜1、2号機の安全性向上対策工事の実施状況と運転期間延長にかかる地元理解活動の報告。特定重大事故等対策施設の実施状況。

神戸製鋼所、三菱マテリアル子会社の不適切行為の経緯と対策について報告があった。

【原子力規制庁】
西村 地域原子力規制総括調整官
(福井担当)

我が国の原子力施設の現状について、全国の新規制基準適合性に係る審査等の状況。若狭地区の許認可の状況と六ヶ所再処理施設の新規制基準適合性審査の状況についての説明があった。

【原子力防災施設中央体育館
設備設置工事完成】

施設の完成に伴い完成施設見学実施。



放射線防護施設(150名収容可能)

第4回 組合定例会開催

嶺南広域行政組合

代表議員 上尾 徳郎

●議案第69号
■平成28年度嶺南広域行政組合一般会計歳入歳出決算認定

歳入 6億8870万2812円 歳出 6億8646万6946円 で差し引き残額 223万5866円。翌年度に繰り越す事業はなく実質収支も同額となる。

【全員賛成で同意】

小浜市への 防護柵現地視察の実施

鳥獣害対策委員会

委員長 西野 朋宏

平成30年3月19日(月)、委員会は、小浜市内において、獣害防止金網柵の視察を実施した。

この視察において、みえた課題が左記のとおり。

●金網柵設置後の維持管理
小浜市において金網柵設置後は、被害防止に効果が出たが、その維持管理について課題が浮き彫りになった。設置後の維持管理は、集落毎に維持管理協定を締結したが、現状では破損箇所の修復等が住民の高齢化や人手不足により実施できていない状況であり、それに伴い、獣害の再発している集落が出てきて居るのが現状である。

◇12月26日(火) 敦賀市立図書館

管理者の敦賀湖上市長より、提案理由説明の中で、嶺南鉄道整備促進基金の内、琵琶湖若狭湾快速鉄道の建設促進運動中止に伴う積立金の取り扱いについては、2次交通の充実を柱として個別の活用については協議中との報告があった。

若狭広域行政事務 組合議会報告

若狭広域行政事務組合

代表議員 小幡 憲仁

◇平成29年12月27日(水)

若狭広域行政事務組合議会議場

●議案第10号

平成29年度若狭広域行政事務組合一般会計
補正予算(第1号)

●議案第11号

若狭広域行政事務組合情報公開条例

●議案第12号

若狭広域行政事務組合個人情報保護条例

●議案第13号

若狭広域行政事務組合介護認定審査会の委員の定数等を定める条例

●議案第14号

若狭広域行政事務組合管理者等の報酬および費用弁償に関する条例の一部改正

全議案とも【全員賛成で可決】

議会傍聴に お越しください



会議当日は議会事務局にて受付致します。
事前予約は不要です。
次回定例会は6月です。

<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>
高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710

「エネルギー基本計画見直し」に 対する要請活動

◇平成30年2月8日(木)・9日(金)

●12月議会で国の「エネルギー基本計画の見直し」に対し高浜町議会では『意見書(地方自治法に基づく正式な意見書)』を議決した。

●意見書では、原子力発電所の安全・安定運転に欠かせない原子力関連人材を確保するためには、今後とも原子力発電が我が国にとって欠かせない貴重な電源であることを示すことが必要であり、そのためには「エネルギー基本計画の見直し」に原子力発電所の新増設・リブレース方針を明記することを国に求める内容。

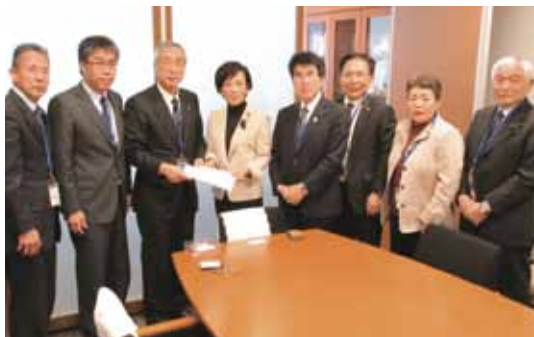
●この意見書の趣旨に沿って、高浜町議会の正副議長、各委員長が上京し、国会議員、政府機関等に要請活動を行った。

●自民党のエネルギー分野の重鎮である細田博之衆議院議員を始めとして、多くの国会議員、政府の役人に対し高浜町議会の意見書に沿った原子力政策が実現されるよう要請を行った。

(小幡憲仁)



自民党細田博之、高木毅衆議院議員に要請



公明党山本香苗参議院議員に要請

議員と語ろう会

議員と語ろう会は、毎回テーマを設け各委員会メンバーを中心に開催しています！
今まで同様、各会場参加自由です。
皆様のご意見&ご参加お待ちしております！

総務産業常任委員主体

今回のテーマ

「薬草事業について」

5月9日(水)19:30~21:00

● 青郷公民館

山本委員長、西野副委員長、大塚委員、井ノ元委員、磯部委員、横田委員、栗野委員



人口減少問題対策調査特別委員主体

今回のテーマ

「Uターン者の増加対策と
定住促進について」

5月15日(火)19:30~21:00

● 和田公民館 2階 研修室

井上委員長、大塚副委員長、児玉委員、釣本委員、上尾委員、廣瀬委員、小幡委員



傍聴にお越しいただきました ～高浜町婦人会の皆さま～

3月9日一般質問の傍聴にお越しいただきました。「テレビで見るより議員が近く感じられてよい」「どんな議員がいるのか一目でわかる」というお声や、また初めて傍聴にお越し頂いた方もいらっしゃいました。議会といたしましても、町民の方々にわかりやすく、また透明化をはかるため、尽力してまいります。

お越しいただき、ありがとうございました。

(児玉千明)

議会傍聴にぜひお越しください！



傍聴された皆様と記念撮影

編集後記

今冬は、嶺北では記録的な大雪が降り、8号線では1500台もの車が立ち往生するなど、大きな被害が出ました。教訓として備えておくことが大切であると思います。

平昌オリンピック、パラリンピックでは、日本代表選手団の大活躍で元氣と感動をいただきました。

本年は、福井しあわせ元気国体が9月29日から開催されます。

福井県選手の活躍に期待するとともに、全国からの参加者を心からもてなし、感動を共有できる大会となることを願います。

文責 (磯部武史)

広報特別委員会

委員長 釣本 音次
副委員長 児玉 千明
委員 磯部 武史
大塚 ひとみ
井上 順也
西野 朋宏

